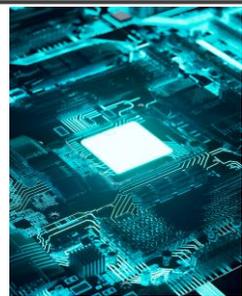


2025年8月6日
株式会社SVPジャパン

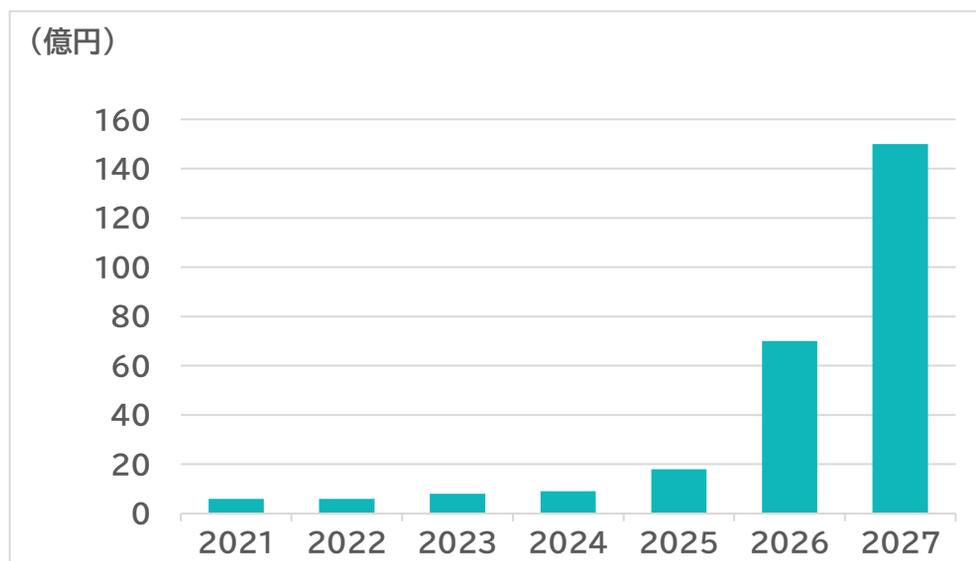
SVP注目市場分析 「酸化ガリウムウエハー/パワー半導体」を公開

～次世代EV・再生可能エネルギーを支える中核材料として期待～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「酸化ガリウムウエハー/パワー半導体-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

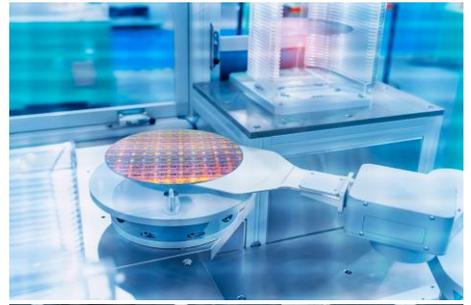
■ 酸化ガリウムウエハー/パワー半導体の世界市場



近年、カーボンニュートラルへの対応やEV、再生可能エネルギーの普及に伴い、電力変換効率に優れる次世代パワー半導体への注目が急速に高まっている。酸化ガリウム（ Ga_2O_3 ）は、従来のシリコン（Si）や炭化ケイ素（SiC）、窒化ガリウム（GaN）と比べ、電流や電圧への耐性が高く、電力ロスが少ない次世代パワー半導体材料として注目されており、世界的に研究・開発が進んでいる。2024年時点での酸化ガリウムウエハー/パワー半導体の世界市場は約9億円と推定され、量産体制の整備が進む2025年以降には本格的な市場拡大フェーズに入ると見込まれている。EVの急速充電器や電源ユニット、再生可能エネルギー発電システムなど用途の広がりとともに、2030年には数百億円規模の市場へ成長する可能性が高い。

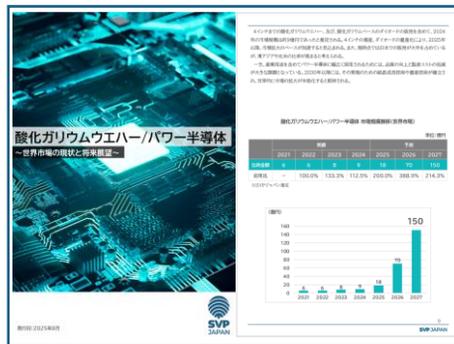
■ 酸化ガリウムウエハー/パワー半導体の市場概況

パワー半導体の進化において、基板材料の性能向上は不可欠である。酸化ガリウムは、日本発の技術による先行素材であり、β型およびα型という異なる結晶構造がそれぞれの特性を活かして開発されている。β型は安定性に優れ、現在はノベルクリスタルテクノロジーなどによって2~4インチのウエハーが量産・出荷されており、2023年からはショットキーバリアダイオード（SBD）のサンプル提供も開始された。α型についても、FLOSFIAによる「ミストドライ法」を用いたダイオードの製品化が進められている。現時点では、これら製品は主に研究開発用途や試作段階にあるが、4インチの増産や6インチへのスケールアップにより、今後の本格量産体制の構築が期待されている。日本勢が先行する中で、中国勢の台頭も始まっており、将来的な競争環境の激化が見込まれる。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

9月のテーマは「建設機械」と「レーザー加工機」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com